

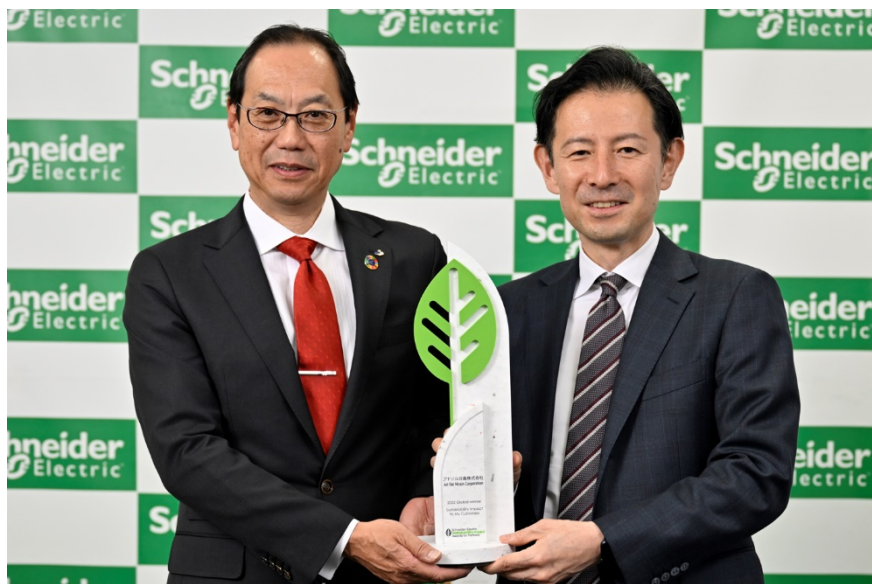
2023年6月20日

各 位

東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 上田 富三
コード番号 3837 東証プライム市場
問合せ責任者 取締役管理本部長 寺村 知万
(TEL 03-5796-3131)

アドソル日進、シュナイダーエレクトリックが世界全体で主催するパートナー向けアワード「シュナイダー・サステナビリティ・インパクトアワード」にて「Global Winner」に選出

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区／代表取締役会長兼 CEO：上田富三、以下アドソル日進）は、世界 100 か国以上で事業を展開するエネルギー & オートメーション分野における DX のリーディングカンパニー「シュナイダーエレクトリック」がグローバル全体で開催した「**Schneider Sustainability Impact Award（シュナイダー・サステナビリティ・インパクトアワード）**」にて、世界で 6 社のみが選ばれる「**Global Winner**」に選出されましたのでお知らせいたします。



シュナイダーエレクトリック白幡晶彦日本統括代表（右）から Global winner のトロフィーを受け取る
アドソル日進代表取締役社長兼 COO 篠崎 俊明（左）

1. 「Schneider Sustainability Impact Award」について

シュナイダーエレクトリックが 2022 年に創設した、パートナー企業向けのグローバルアワードです。全世界で、革新的技術の導入やカーボンニュートラルの推進において、大きなインパクト（影響）をもたらしたパートナー企業が表彰の対象となります。

“Impact to My Company” 部門：（全世界で 3 社）

自社事業におけるオペレーションで優れたサステナビリティリーダーシップを発揮したパートナー企業

“Impact to My Customer” 部門：（全世界で 3 社）

顧客の脱炭素化目標達成を支援するプロジェクトで優れたサステナビリティリーダーシップを発揮したパートナー企業

第 1 回となった今回は、世界から 400 件以上の企業登録があり、業界をリードするインパクトをもたらした企業として、各部門 3 社・合計 6 社が表彰されました。

2. アドソル日進の受賞理由

アドソル日進は、“Impact to My Customer” 部門において全世界で 3 社のみが選ばれる **Global Winner** に選出されました。

アドソル日進は 2021 年、シュナイダーエレクトリック日本初の「SI パートナー」となり、「インダストリーDX」、「VPP・マイクログリッド」「エネルギーマネジメント」を中心に、両社共同でビジネスを展開しています。

今回の表彰は、シュナイダーエレクトリック社の「EcoStruxure™」製品を活用し、エネルギー企業のカーボンニュートラルに向けたご提案や、自動車産業向けのプロセス改善プロジェクトにおけるシュナイダー社との共同展開などが評価されたものです。

3. シュナイダーエレクトリック 白幡晶彦日本統括代表のコメント

アドソル日進が日本市場におけるプロジェクトを通じてこのような評価を受賞されたことに、改めてお祝いを申し上げます。シュナイダーは、様々な市場に向けてデジタルソリューションを提供していますが、我々 1 社だけで出来ることには限界があり、ローカルでのパートナーシップには何物にも代えがたい意義があります。

今後、さらに強まるアドソル日進とのコラボレーションによって、より多くの新しいプロジェクトが生まれることに期待しています。また、今回のアワードプログラムを通じた対外的な発信が、日本市場のみならず世界中の企業・組織にさらなる良い影響をもたらし、グリーントランスフォーメーションを加速する一助となるよう願っています。

4. 今後の取り組みについて

アドソル日進とシュナイダーエレクトリックは今後、シュナイダーエレクトリックの「EcoStruxure™」製品をコアに、アドソル日進の高度かつ高品質なエンジニアリング力、付加価値の高いソリューションを融合し、カーボンニュートラルを目指す企業やエネルギー効率化を目指す企業のグリーントランスフォーメーション、ひいてはサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

「EcoStruxure™」について

「EcoStruxure™」は、オープンで相互運用性を備えた、IoT 対応のシステムアーキテクチャでありプラットフォームです。安全性、信頼性、効率性、持続可能性、接続性を向上させ、お客様に高い価値を提供します。EcoStruxure は IoT、モビリティ、センシング、クラウド、アナリティクス、サイバーセキュリティの先進技術を活用し、「Innovation at Every Level（あらゆる階層でのイノベーション）」を実現します。これには、「コネクテッド製品」、「エッジコントロール」、および Customer Lifecycle Software がサポートする「アプリケーション・アナリティクス・サービス」などがあります。「EcoStruxure™」は約 50 万か所の事業拠点に導入され、2 万以上のデベロッパー、65 万のサービスプロバイダーおよびパートナー、3,000 の公益企業のサポートを受け、200 万以上の管理対象資産を接続しています。

<https://www.se.com/jp/ja/work/campaign/innovation/overview.jsp>

シュナイダーエレクトリックからのプレスリリースは [こちら](#) をご覧ください。

(シュナイダーエレクトリックのウェブサイトに移ります)

5. 会社概要

■シュナイダーエレクトリック 会社概要

- ・会社名：Schneider Electric SE
- ・代表者：CEO Peter Herweck
- ・設立：1836 年
- ・上場：ユーロネクスト・パリ上場
- ・本社：フランス リュエイユ・マルメゾン市
- ・拠点：ワールドワイド 100 か国以上
- ・売上高：341 億ユーロ（約 4.7 兆円） ※2022 年平均レート換算

■アドソル日進株式会社 会社概要

- ・会社名：アドソル日進株式会社
- ・代表者：代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三
- ・設立：1976年3月
- ・上場：東証プライム市場（証券コード：3837）
- ・本社：東京都港区港南4丁目1番8号 リバーヂュ品川

（ご参考）アドソル日進の「持続可能な社会」の実現に向けた取り組みについて

当社は、「暮らしと社会を守る」社会インフラと、「日本のモノづくり」を支える ICT システムの提供を通じ、SDGs 達成に向けた取り組みを続けております。

<https://www.adniss.jp/esg/>



	<p>・エネルギー企業（電力・ガス） の ICT システム開発</p>		<p>・大学・研究機関との共同研究開発 ・AI 研究所での研究開発 ・独自技術の特許取得</p>
	<p>・自然災害対応（レジリエンス） 関連ソリューション</p>		<p>・テレワークソリューション 「セキュア・ラップトップ」</p>
	<p>・医療機器・検査機器に関わる ICT システム開発</p>		<p>・クラウド型 e ラーニングシステム 「Study Arts」の開発・提供</p>

今後も、「デジタル社会の“あした”をリードするイノベーションカンパニー」として、持続可能（サステナブル）な社会の実現を目指してまいります。

以上

■このプレスリリースに関するお問い合わせ先

アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131
e-mail：ir@adniss.jp

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。